

2023年 埼玉県高齢者元気アップ応援事業所認証事業

LIFEに対応する 自立支援ケアのあり方

講師 株式会社楓の風 小室貴之 KOMURO, Takayuki



LIFEに対応する自立支援ケアのあり方

【1】通所介護におけるLIFEの活用

【2】あなたが把握している利用者のニーズ、
それは利用者の本音？

【3】運動に偏らないケアと
ICFの視点が機能訓練加算のポイント

【1】 通所介護におけるLIFEの活用



2024年～訪問サービスや居宅介護支援にLIFE加算スタート

担当者会議で事業所それぞれのフィードバックデータを持ち寄り、参加者間で共有・検討したうえで、必要に応じてケアプランに反映

- 利用者のアセスメントが適切に行われているか
- LIFEに提出されているアセスメントや計画書は常に最新な情報であるか
- 最低半年に1回（科学的介護推進体制加算要件）
- 個別Ⅱ・口腔Ⅱは3か月に1回

フェードバックデータを分析し、計画等の見直しを行うなど
PDCAサイクルにしっかり落とし込みましょう

PDCAサイクルとLIFE活用のプロセス

準備

- 利用者や施設事業所が目指す姿、状態を設定する
- 多面的な情報共有を行う体制をつくる

Check
(評価)

- 担当者会議等において、利用者および施設・事業所の現状やこれまでに実施した取り組みによって生じた変化について確認

▶ フィードバック受領
▶ フィードバックを一つの材料として評価を行う

ACT
(改善)

- 実施した取り組みによって変化の要因を検討する
- 利用者の意向やこれまでに実施した取り組みの効果等をふまえ、次に取り組む課題を整理する

Plan
(改善)

- 次に取り組む課題を踏まえて目標を設定し、目標達成に向けた計画を立てる

Do
(実行)

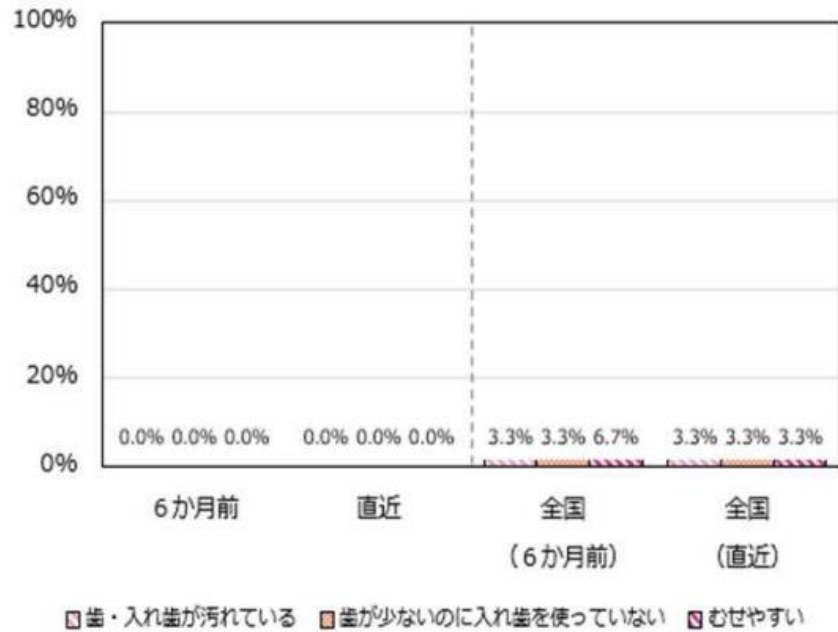
- 計画に基づいて取り組みを実践する

▶ 日々のケアの中でデータを記録しLIFEへ提出

提出するデータは常に適切かつ最新

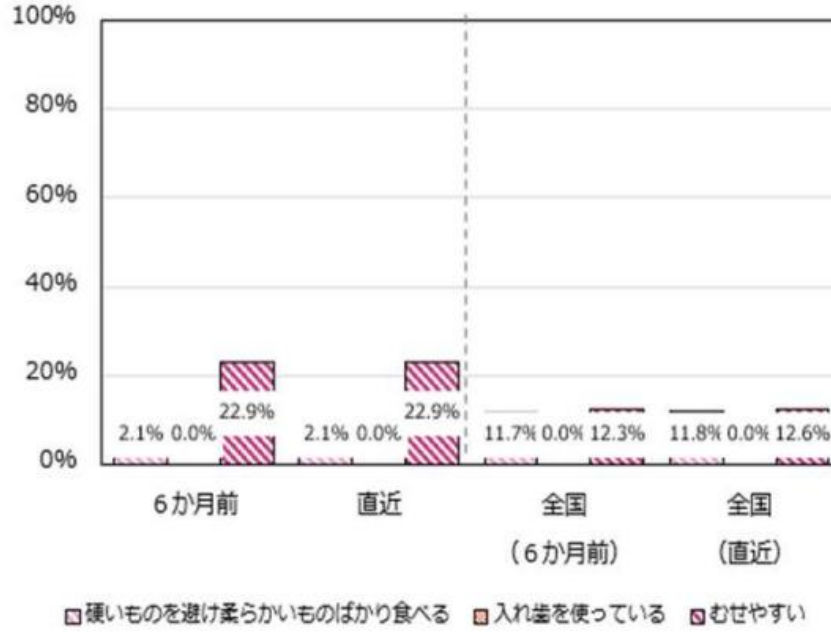
事業所票の見方 (例)

口腔の健康状態 (施設サービス)



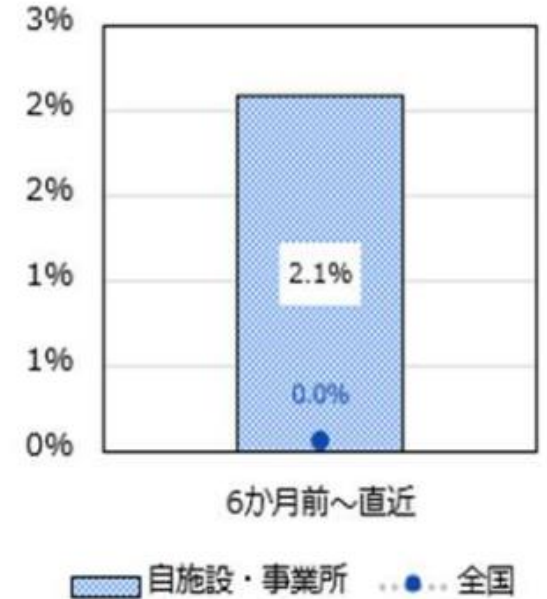
自施設・事業所：n=-, 全国：n=30

口腔の健康状態 (通所・居住サービス)



自施設・事業所：n=48, 全国：n=159800

誤嚥性肺炎の発生率

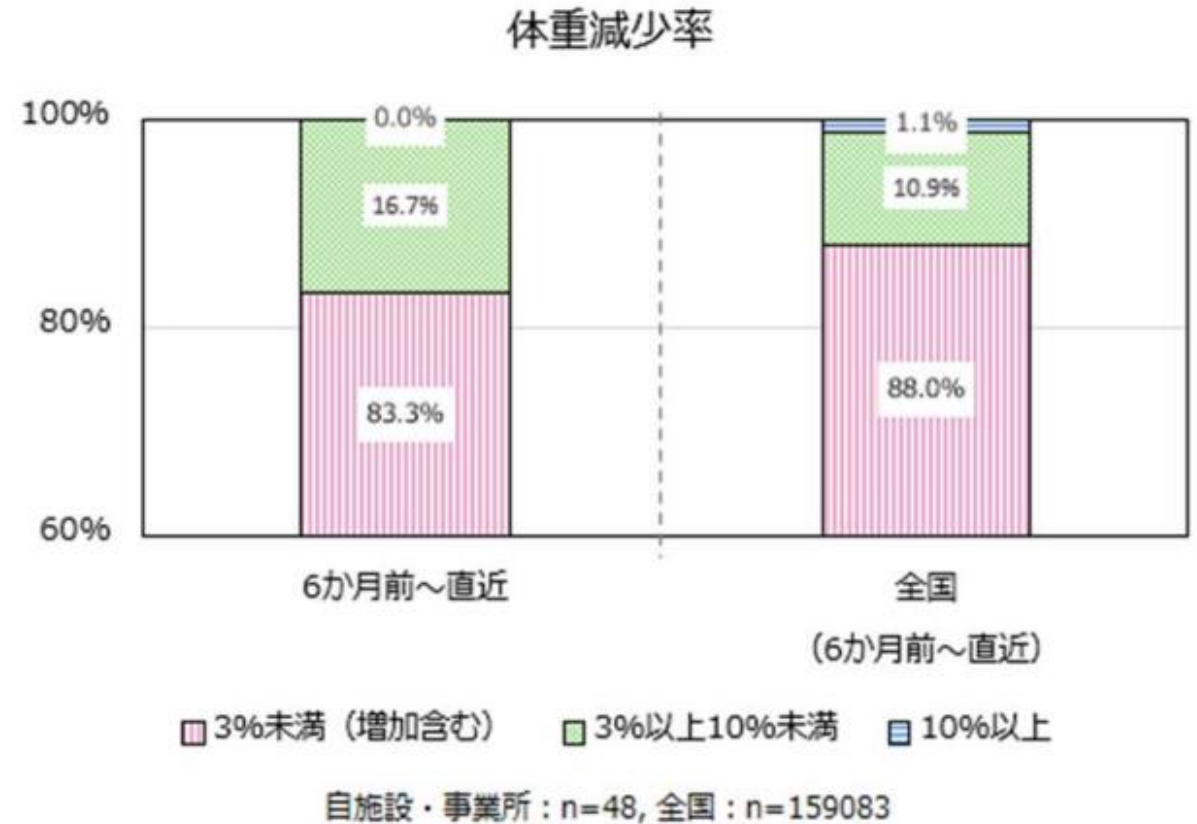
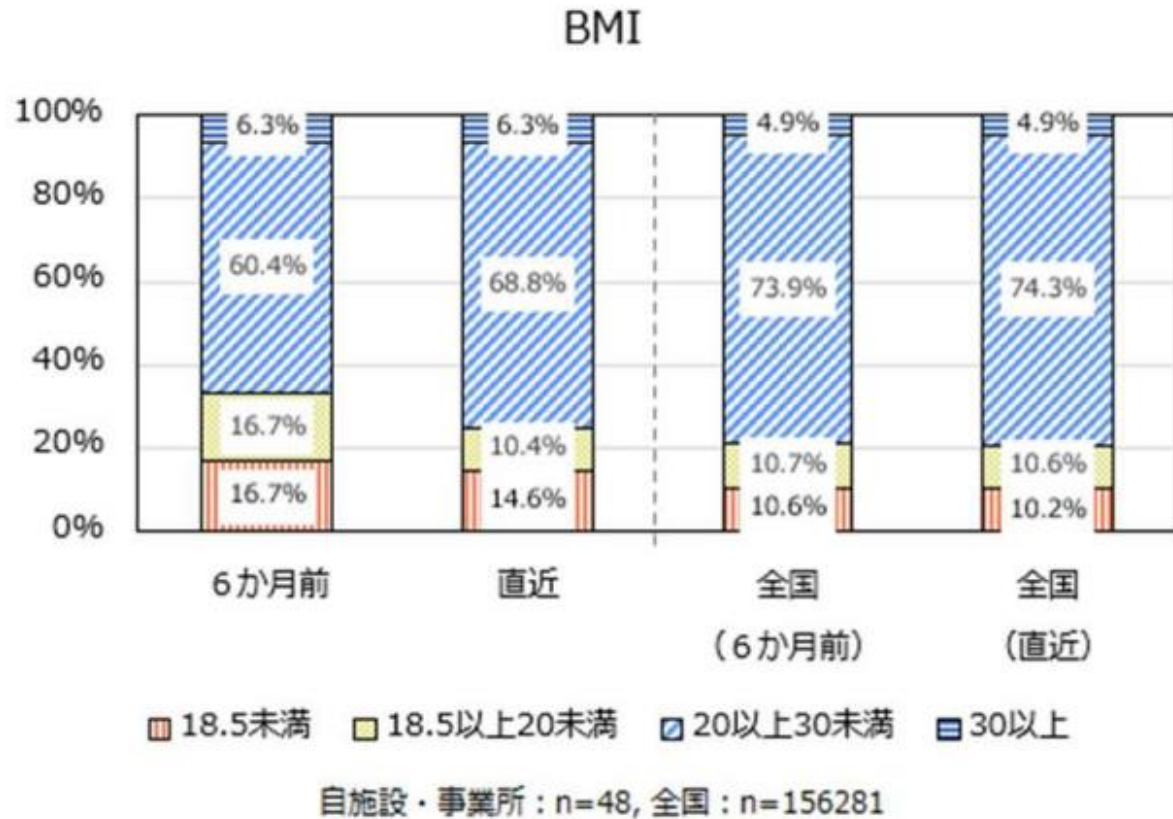


自施設・事業所：n=48, 全国：n=158387

全国の値に比べて、「むせやすい」傾向が高く、誤嚥性肺炎の発生率も高かった。

口腔ケアによりしっかり取り組んだ方がいいのではないか

事業所票の見方（例）



やせ型の利用者の割合が高く、体重の減少率が高い。

食事摂取、嚥下機能の維持改善を図り、誤嚥性肺炎と低栄養の予防ができる取り組みを強化すべきか

利用者票の見方 (例)

評価日	6か月前： 2022/10/1	直近： 2023/4/1	変化
食事	一部介助(5)	一部介助(5)	→
椅子とベッド間の移乗	自立(15)	座れるが移れない(5)	↓
整容	自立(5)	自立(5)	→
トイレ動作	自立(10)	一部介助(5)	↓
入浴	全介助(0)	全介助(0)	→
平地歩行	歩行器等(10)	車椅子操作が可能(5)	↓
階段昇降	一部介助(5)	全介助(0)	↓
更衣	自立(10)	自立(10)	→
排便コントロール	自立(10)	一部介助(5)	↓
排尿コントロール	一部介助(5)	一部介助(5)	→
ADL合計点 (Barthel Index)	75	45	↓

BI 値の大きな低下があった。
原因は 2 月中の大腸がん
Ope のための入院である。

半年で 7 kg の体重減少があった。

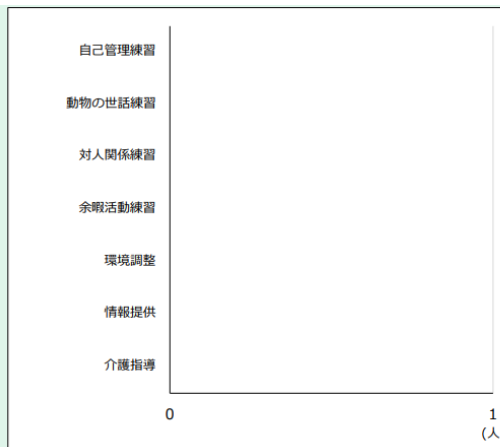
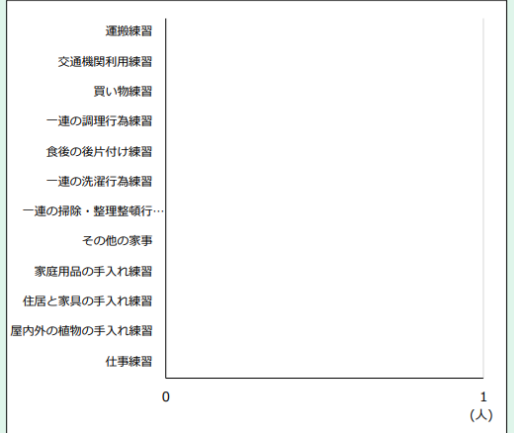
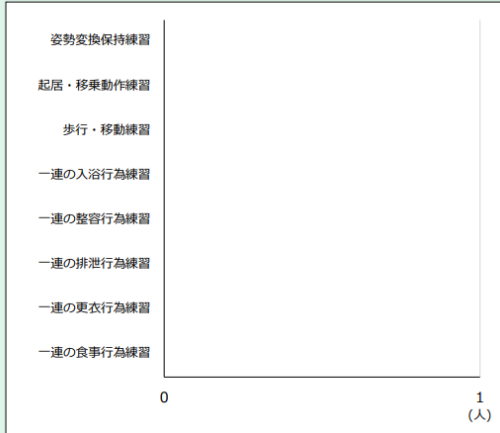
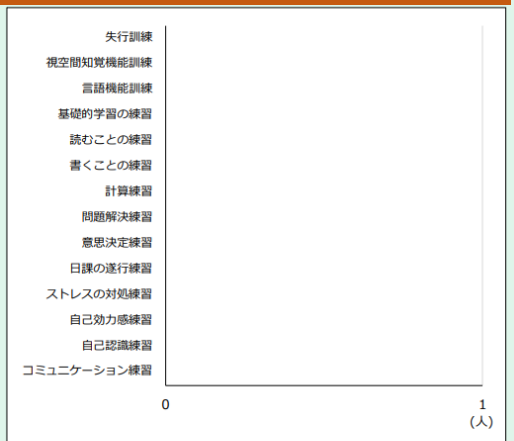
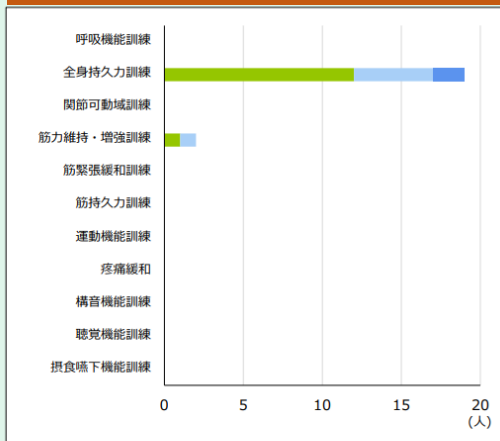
■ 口腔・栄養

評価日	6か月前： 2022/10/1	直近： 2023/4/1	変化
身長	148	148	→
体重	68	61	↓
低栄養状態のリスクレベル (※)	低	低	→
(※) 口腔の健康状態 通所・居住	硬いものを避け柔らかいものばかり食べる	該当有り	→
	入れ歯を使っている	該当有り	→
	むせやすい	該当有り	→

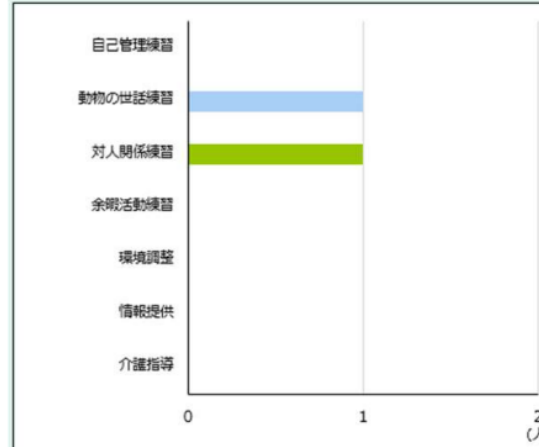
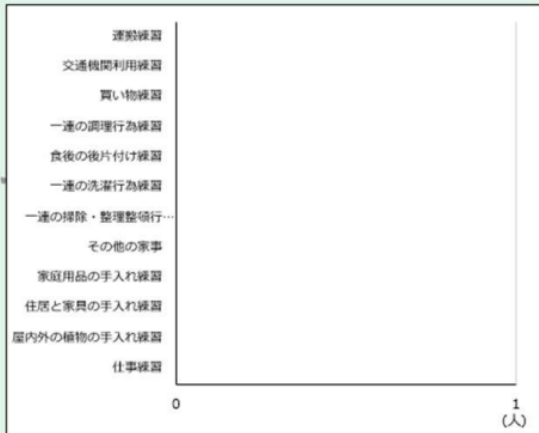
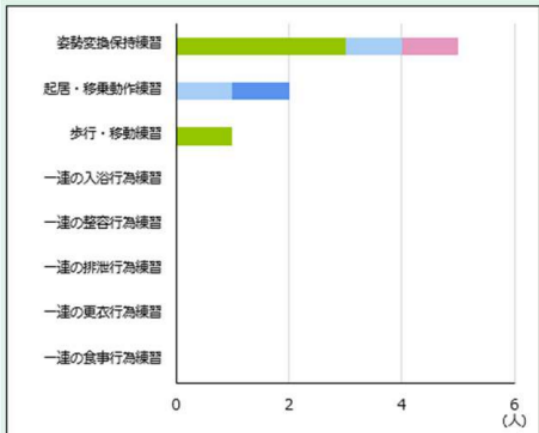
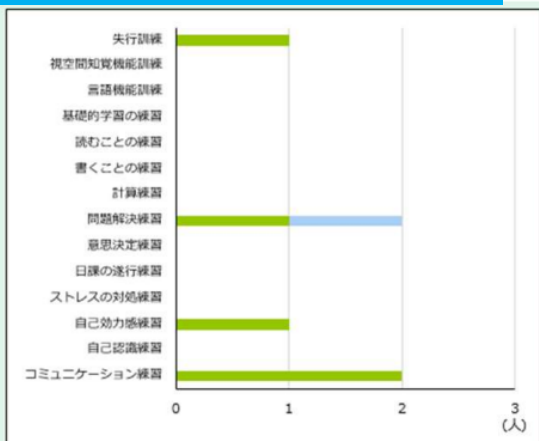
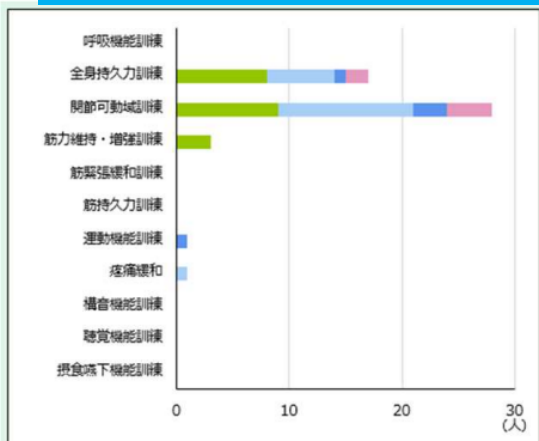
【考察】

- 体力、機能の回復のために、訓練内容、頻度、時間は適切か。
- 食事環境のアセスメントが必要ではないか。
- 口腔機能向上加算や、栄養・口腔スクリーニング加算Ⅰ又はⅡの算定が必要ではないか。

個別機能訓練の状況 A施設



個別機能訓練の状況 B施設



個別機能訓練の状況 B施設

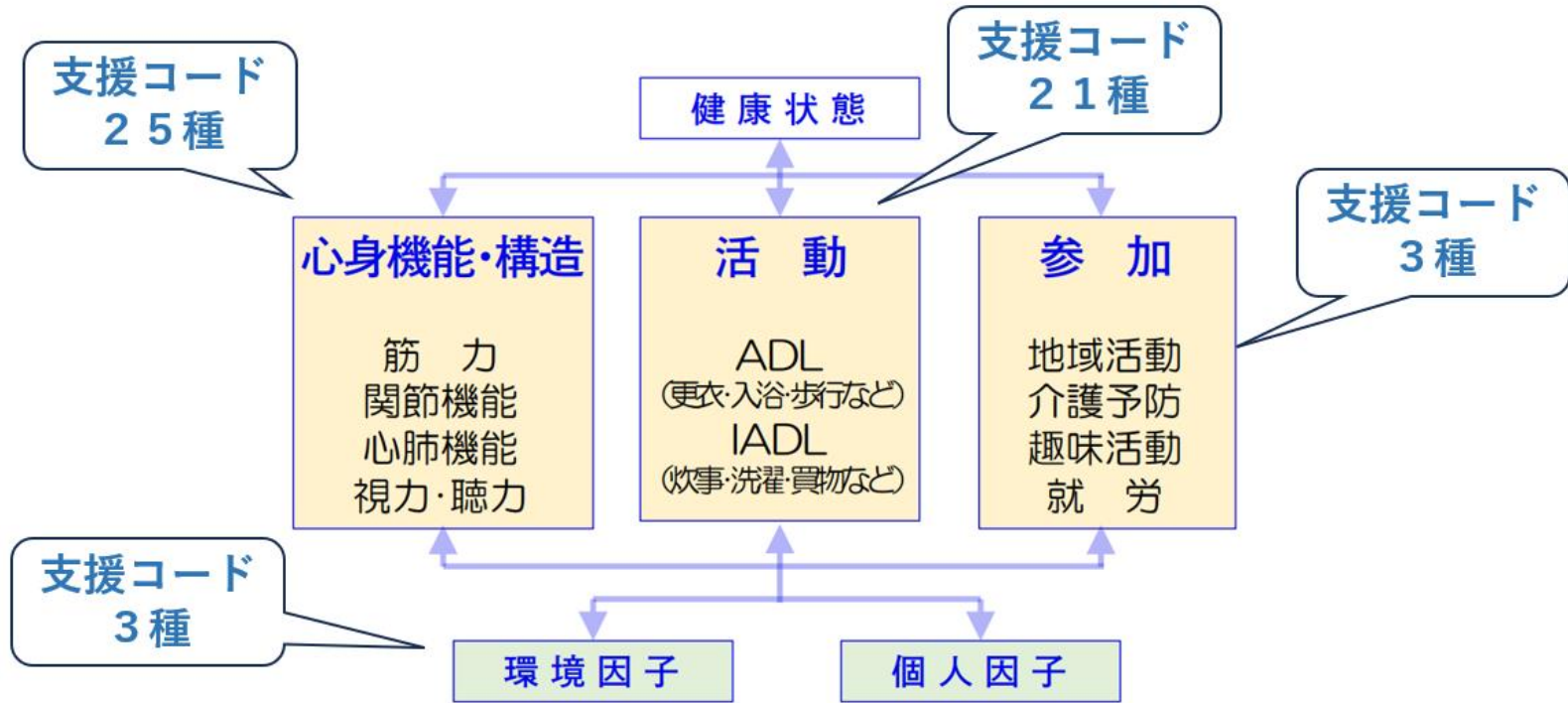
心身機能系

活動系

参加系

順位	支援コード	支援内容	記載頻度
1	2	全身持久力訓練	28
2	28	歩行・移動練習	21
3	4	筋力維持・増強訓練	14
4	7	運動機能練習	13
5	3	関節可動域訓練	12
6	8	疼痛緩和	10
7	27	起居・移乗動作練習	7
8	6	筋持久力訓練	7
9	5	筋緊張緩和訓練	7
10	36	自己管理練習	3
11	37	買い物練習	3
12	47	対人関係練習	2
13	24	一連の排泄行為練習	2
14	30	食後の後片付け練習	2
15	25	コミュニケーション練習	1
16	23	自己効力感練習	1
17	12	認知機能訓練	1
18	19	歩行・移動練習	1
19	46	動物の世話練習	1
20	26	姿勢変換保持練習	1
21	20	学習と課題の遂行練習	1
22	38	一連の調理行為練習	1
23	49	仕事練習	1

LIFEの支援コードはICFの「心身機能・構造」「活動」「参加」「環境因子」の視点で作られています



- 訓練プログラムは心身機能系に偏らないこと
- 活動や参加の領域、環境領域の支援コードを参考に、ICFを活用したプログラムを生み出しましょう

【2】

あなたが把握している利用者のニーズ、
それは利用者の本音？



事例:脳梗塞 70代男性 妻(支援2)と二人暮らし



◆アセスメント、デイの利用目的、意向

- ・こんな体になってしまい、支援2の妻に介助させてまで生きてはいけない。
- ・早く死にたい。飛び降りることもできない。
- ・まるで役に立たない。居るだけ邪魔な存在
- ・妻を大切にしたい。大切にしてきた。
- ・少しでも支援2の妻の役に立ちたい

◆援助計画の策定

【活動・参加】

- ・片手で出来る簡単な掃除
- ・洗濯をする、洗濯物を干す
- ・車いすでスーパーに買いものに行く

【心身機能】

- ・上肢下肢の訓練、持久力、他

【環境調整・ソーシャルワーク】

- ・家族の理解、スーパーの協力、道のり確認

◆訓練内容

- ・車いす操作
- ・筋力トレーニング、体力づくり

D・スーパー キャリアレインボー

状況的决定因：間接的一直接的

社会構造

歴史的变化

社会経済的組織・状況

雇用訓練

学校

地域社会

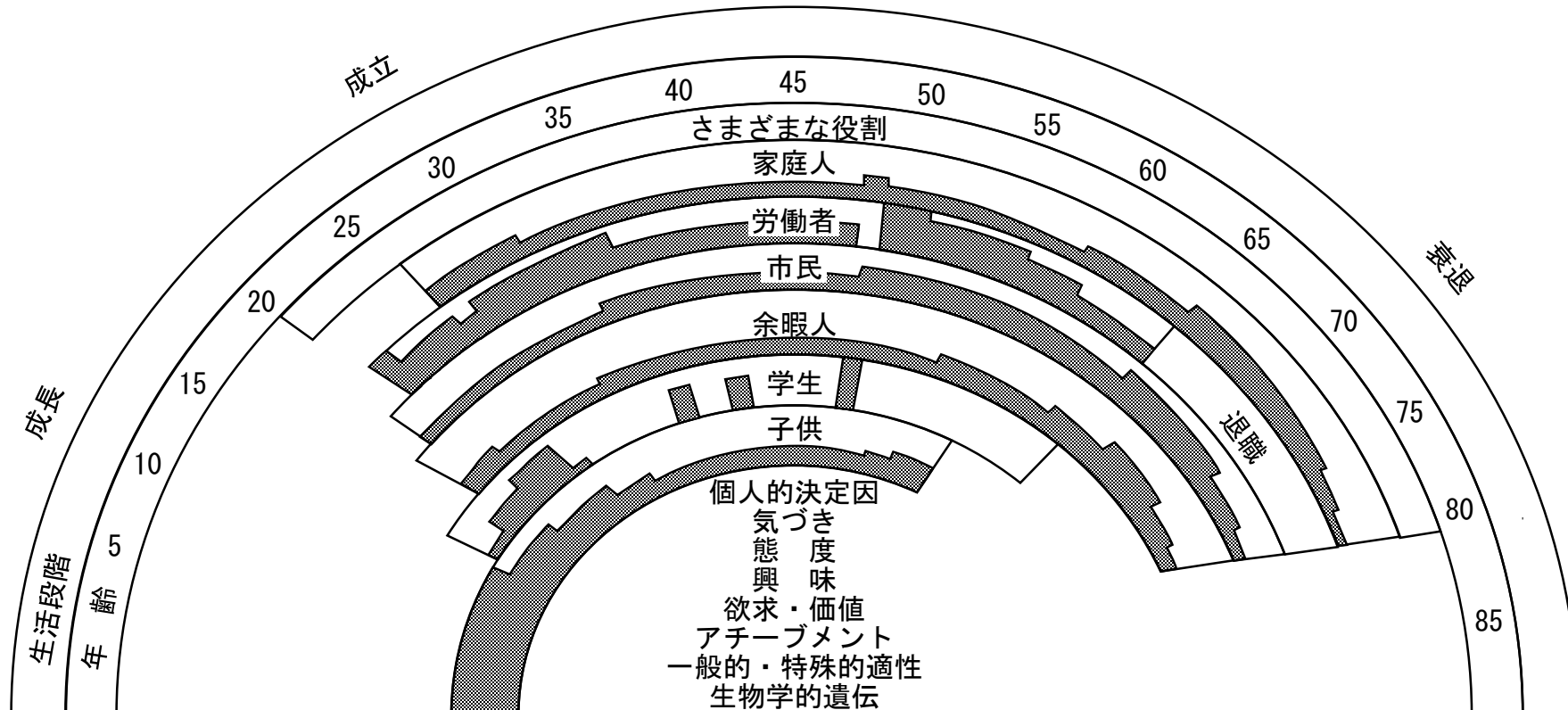
家庭

維持

D.スーパ - 1986

◆ドナルド・スーパー

職業指導の父と呼ばれ、キャリア
概念を始めて理論化した心理学者

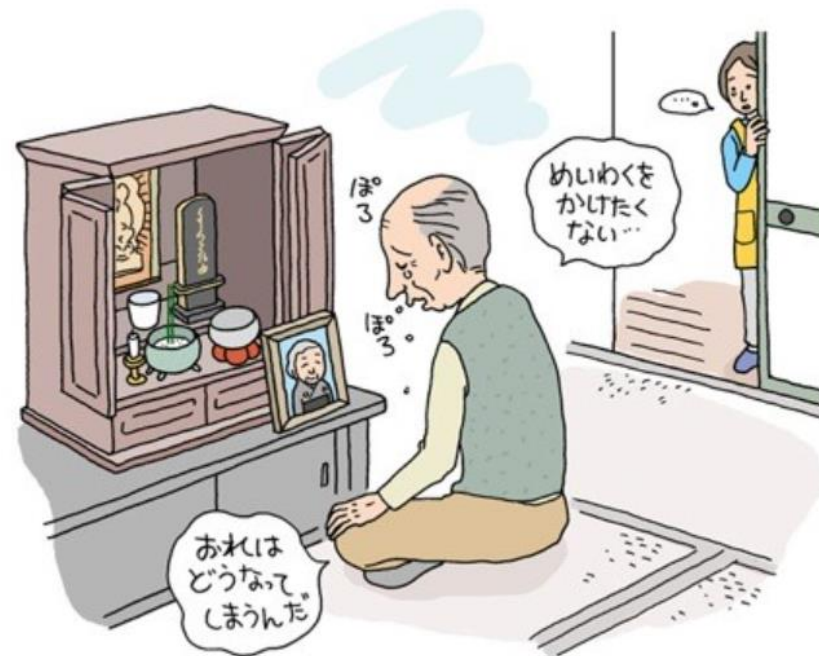
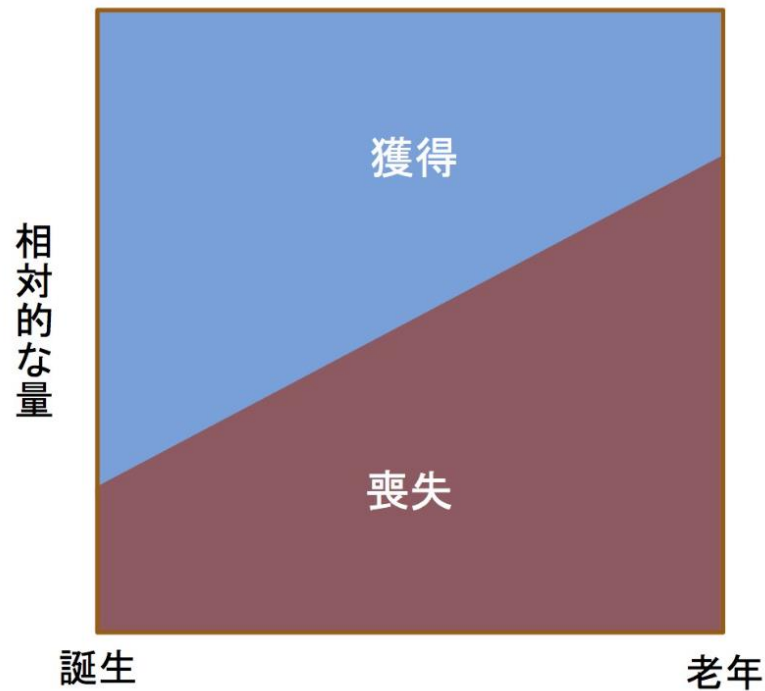


資料出所：渡辺美枝子・E. L. Herr 『キャリアカウンセリング入門』 2001年 ナカニシヤ出版より引用

高齢期における3つの喪失

- ① 身体的な喪失
- ② 社会的な喪失
- ③ 精神的な喪失

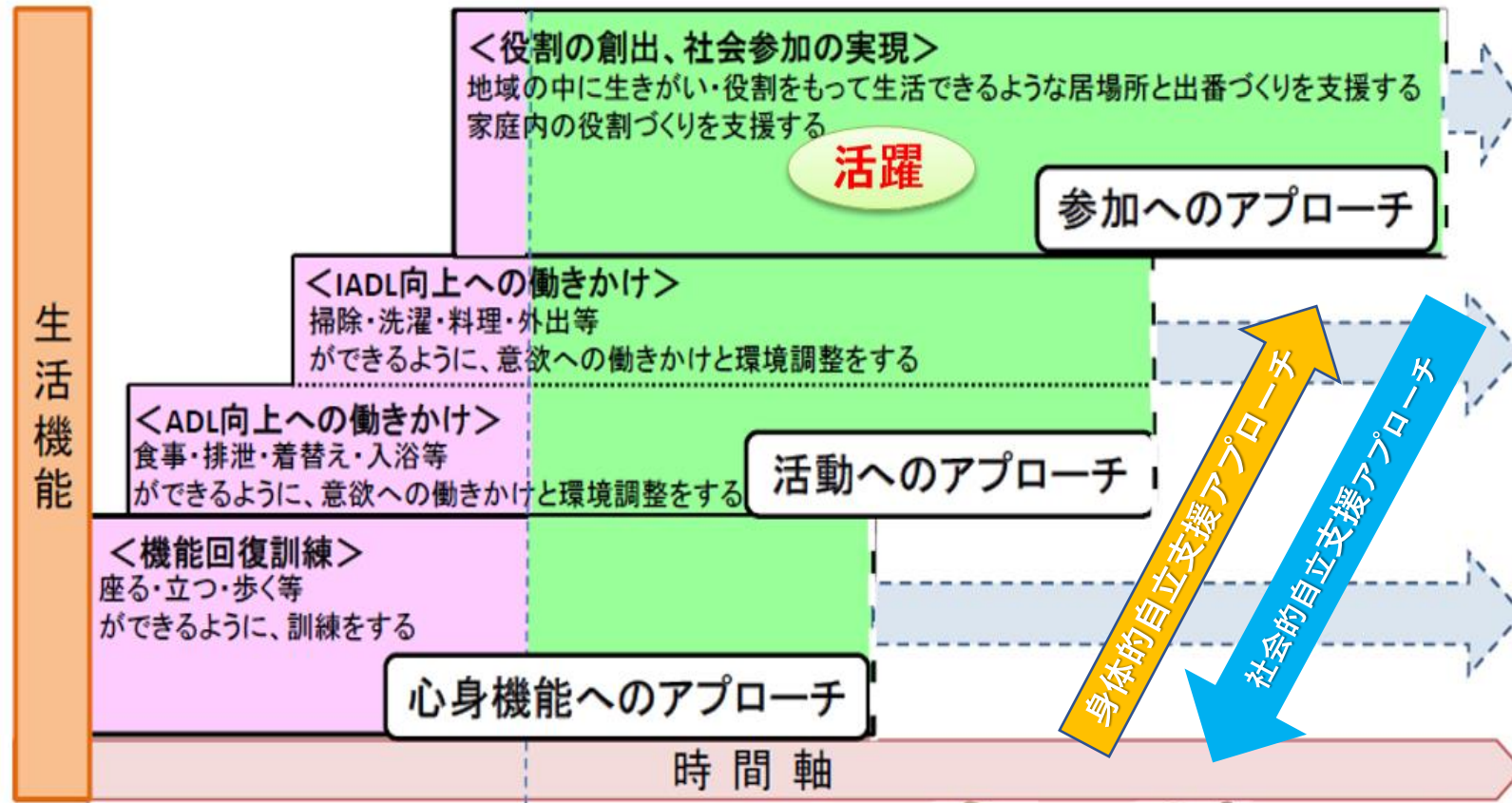
- 存在意義を感じることが出来ない
- 抑圧された想い



利用者を「単なるサービスの客体ではなく、**役割をもつ人間**」と定め、
彼らがお世話を受ける受動的な存在におさまらず、
役割を持ち、自らのさまざまな能力や残存機能を発揮し、その**存在意義を見出す**のを手助けすることが
デイサービスの役割である

参照：「平成15年度都市型在宅サービス普及促進事業調査研究報告書」における「通所サービスの役割機能の再評価」東京都（2003）

高齢者のリハビリテーションのイメージ



2015年 厚生労働省中央社会保険医療協議会・総会資料より抜粋、加筆

- 身体機能の回復の視点に偏らないようにしましょう
- 環境因子への働きかけなど、体が元気にならなくても活躍できる視点を持ちましょう

ケア要素とアウトカム尺度、見出されるニーズの分類

ケアの要素と領域	アウトカム スケールの種類	設問領域と内容	面接を通じて引き出されるニーズ
社会的ケア要素 【社会的自立支援】	SIOS	「活動」 1. 移動範囲 2. セルフケア 3. 家事 4. 運動習慣	ADL・IADLのニーズ
		「参加」 5. 家庭での役割 6. 社会参加	社会参加・役割のニーズ
		「主体性」 7. 自己効力感 8. 他者とのかかわり 9. 知識と理解 10. 主体的意思決定 11. 自己管理	利用者の主体性・モチベーションを引き出す サービス利用目的への双方のコミットメント
医学的ケア要素 【身体的自立支援】	要介護認定調査	1. 身体機能・起居動作（13項目） 2. 生活機能（12項目） 3. 認知機能（9項目） 4. 精神・行動障害（15項目） 5. 社会生活への適応（6項目）+特別な医療	要介護状態像と問題点課題点の把握 心身機能・運動機能の評価と 問題点課題点の把握
	Barthel Index	食事・整容・移乗・トイレ動作・入浴 ・歩行・階段昇降・着替え・排泄	

下位尺度『活動』

設問1 移動範囲

該当するものすべてに印をつけて下さい。介護者や同伴者の有無は問いません。

- 自宅から一番近い店に買い物に出かけられる
- 自家用車に同乗、またはタクシーで市区町村の外まで出かけられる
- バスや電車で市区町村の外まで出かけられる
- 鉄道や飛行機で遠方まで出かけられる(乗車・搭乗1時間以上)
- 自分で自転車、または自動車を運転して移動できる

特記事項

娘が週一回訪ねてくる、近所のショッピングセンターまで車で連れて行ってくれるが、それ以外外出は無い。娘の負担を軽くするためにもせめて買い物と食事の支度ぐらいしなければならないが、情けない。

下位尺度『活動』

設問2 セルフケア

該当するものすべてに印をつけて下さい。

- ひとりで入浴またはシャワー浴ができる
- ひとりで歯磨きと手足の爪切りの両方ができる
- ひとりでトイレを済ますことができる
- ひとりで着替えができる
- ひとりで食べ物が食べられる
- ひとりで健康診断や予防注射が受けられる

特記事項

入浴は危ないからと止められており、娘が来る時と週二回のデイサービス利用時に入浴している。でも本当は毎日風呂に入りたいがそうすると迷惑をかける。

下位尺度『活動』

設問3 家事

以下の1)から5)の質問で、3つの中から該当するもの1つに印をつけて下さい。

(自分でするほうが多い場合は「いつも」、週に1度程度なら「たまに」を選びます)

「以前」の実施状況と、「現在」の実施状況を、それぞれ記入して下さい。

自分で調理をしていますか？

以前

- いつも
- たまに
- しない

現在

- いつも
- たまに
- しない

自分で調理の材料を入手していますか？

以前

- いつも
- たまに
- しない

現在

- いつも
- たまに
- しない

自分で調理の材料を入手していますか？

以前

- いつも
- たまに
- しない

現在

- いつも
- たまに
- しない

自分で衣服の洗濯と乾燥をしていますか？

以前

- いつも
- たまに
- しない

現在

- いつも
- たまに
- しない

自分で家の掃除をしていますか？

以前

- いつも
- たまに
- しない

現在

- いつも
- たまに
- しない

特記事項

全て週1の娘と週2回のホームヘルパーの世話になっている。しかし他人が家にいると気を遣う。一人の時は電子レンジで温めて食べている。

設問4 運動習慣

該当するものすべてに印をつけて下さい。

- 健康のために、より多く歩くように心がけている
- 健康のために、歩く以外の自主的な運動をしている
- 歩く以外の自主的運動は、週2回以上の頻度で行っている
- 歩く以外の自主的運動は、6ヶ月以上継続している

特記事項

デイサービスで運動する以外、何もしていない。

設問5 家庭での役割

以下の項目のうち、現在行っているものがあれば、「現在」のチェックボックスに印をつけて下さい。

(一部だけ実施または介助を受けての実施も可。ここ1ヶ月の状態を判断します)

現在行っていないくても、以前は行っていたものがあれば「以前」のチェックボックスに印をつけて下さい。(複数回答可)

以 前	現在	
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	家庭用品の使用と管理 (例) アイロンがけ、靴手入れ、季節の衣替え・寝具替え、冷暖房器具出し入れ、節句用品出し入れ、不要品・粗大ごみの廃棄、自転車・自動車の手入れ
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	住居の手入れする(業者依頼含む) (例)壁床手入れ・補修、雨戸網戸の清掃・補修、浴室の防カビ、押入れ通風、排水管清掃、害虫駆除、屋根・外壁・塀・雨どいの補修、除雪
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	庭や植物の手入れ(業者依頼も含む)(例) 植木に水・肥料を与える、雑草取り、植木の剪定、自家用野菜・花の栽培、落葉清掃
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	日用品の貯蔵 (例)漬け物などの保存食を作る、災害用品を備蓄する、灯油を備蓄する
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	家計・財産の管理(例) 収入の維持管理、預金・貯金出し入れ、請求の支払い
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	家族・親族の介護(出向いて行う場合も含む)
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	育児、子供やペットの世話(出向いて行う場合も含む)
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	訪問者や電話への対応
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ご近所づきあい
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	家族・親族の相談相手
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	神棚・仏壇の管理
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	墓参り・法要の準備(直近の機会にできて、今もできると思える場合も含む)

特記事項

こうして質問されるとほとんどできていない、人に頼りっぱなしの自分であることを痛感する。情けない。

設問6 社会参加

以下の項目のうち、現在行っているものがあれば、「現在」のチェックボックスに印をつけて下さい。

(一部だけ実施または介助を受けての実施も可。ここ1ヶ月の状態を判断します)

現在行っていないくても、以前は行っていたものがあれば「以前」のチェックボックスに印をつけて下さい。(複数回答可)

以 前	現在	
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	① 報酬を伴う仕事 (家業の手伝いを含む)
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	② 報酬のない奉仕活動 (例) 清掃・防災・防犯活動、交通安全活動、幼児健全育成に関する活動、障害者・高齢者福祉活動
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	③ 地域行事、敬老会、シニアクラブへの参加 (直近の機会を判断)
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	④ 町内会・自治会・住民管理組合などの団体活動
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	⑤ 結婚式・葬儀・入学式・卒業式・同窓会への参加 (直近の機会を判断)
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	⑥ 市民講座・各種講演会・カルチャーセンターでの学習活動
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	⑦ 市区町村による介護予防・趣味活動など地域活動・集いの場への参加
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	⑧ 友人・知人を訪問、親族・友人と旅行
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	⑨ スポーツ・運動 (⑦以外で、散歩や屋外でのラジオ体操など外出を伴うもの)
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	⑩ 芸術・文化・趣味に関する余暇活動 (⑦以外で、外出を伴うもの)
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	⑪ 宗教関係の活動 (神社仏閣参り、教会礼拝など)
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	⑫ 選挙権の行使 (直近の機会を判断)
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	⑬ ネット等の通信手段で人や社会とかかわる活動、オンラインでの運動、芸術、文化、趣味活動

特記事項

デイサービスと娘に連れ添われる買い物以外、何も社会参加できていない。絵手紙サークルに入っていたが、病気をしてから行ってない。みんなどうしているかな、会いたいな、と思っている。

〇〇をする(機能訓練や環境調整等)

活動の領域

本人が望むこと 希望	デイサービスが望むこと 支援したいこと
娘の負担を軽くするためにもせめて買い物と食事の支度ぐらいしなければならないが、情けない。⇒ 買い物等できるようになりたい	近所のコンビニ等へ 買い物に行けるように支援 したい。
気兼ねなく一人で入浴 できるようになりたい	入浴自立を支援 したい
ホームヘルパーに気を遣わずに生活したい ⇒生活支援の ヘルパーを卒業 したい	掃除と買い物、簡単な調理の支度ができるように支援 したい

参加の領域

人に頼りっぱなしの自分 であることを痛感する。情けない。⇒少しでも 人に頼らない生活を送りたい	何かしらの 役割を通じ、娘さんの役にたてる機会 を作ってあげたい
絵手紙サークルに入っていたが、病気をしてから行ってない。みんなどうしているかな、 会いたいな 、と思っている。	絵手紙サークルに行かせてあげたい。コロナ禍でもなんとか 交流する 方法を考えてあげたい

意向確認から生み出された目標

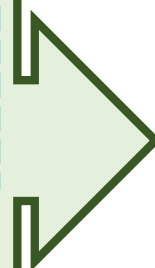
活動

- 近所のコンビニまで買い物にいけるようになる。
- 自宅での入浴が一人でできるようになる。
- 日常の掃除ができるようになる。

参加

- 娘が介護と子育てから解放される時間をつくるため、孫を預かる。
- 絵手紙サークルに再度通えるようになる。絵手紙サークルの友人たちと交流する。

のために



個別機能訓練項目

プログラム内容(何を目的に(～のために)～する)		留意点	頻度	時間	主な実施者
①	近所のコンビニまで買い物にいけるようになるために、屋外歩行訓練をする。	転倒に注意 杖の使い方を注意	週 2 回	3 0 分	PT
②	オンラインで絵手紙サークルに参加するためにタブレット端末とZOOMの使い方を練習する。	特になし	週 2 回	2 0 分	看護師
③			週 回	分	
④			週 回	分	

デイサービス藤の台 [1373206562]
利用者名で絞り込み

タイトル 0 / 40
評価日 2021/12/03 評価者 0 / 20

- 1 設問 1 : 移動範囲
- 2 設問 2 : セルフケア
- 3 設問 3 : 家事
- 4 設問 4 : 運動習慣
- 5 設問 5 : 家庭での役割
- 6 設問 6 : 社会参加
- 7 設問 7 : 自己効力感
- 8 設問 8 : 他者とのかかわり
- 9 設問 9 : 知識と理解
- 10 設問 10 : 主体的意思決定
- 11 設問 11 : 自己管理

「活動」領域の
状況と意向の確認

「参加」領域の
状況と意向の確認

「主体性」
本人の本音・意向

「活動」「参加」
の目標設定

※確認された意向から
目標候補を自動表示
※ICFコード自動選択

機能訓練項目
の立案

※LIFE支援コード自動選択



「心身機能」
の目標設定

※ICFコード自動選択

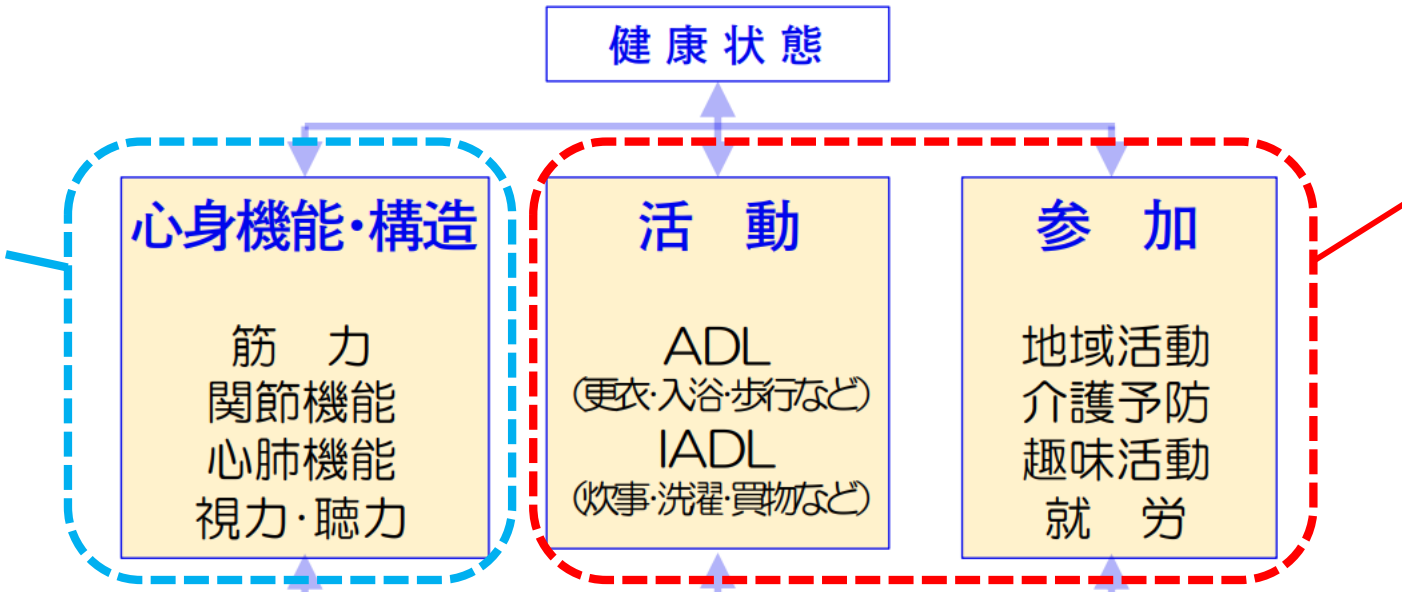
- 秋
- 浅
- 足
- 石
- 石
- 石
- 石
- 石
- 石
- 稲
- 井
- 井
- 井



ICF: 国際生活機能分類 (WHO: 2001)

International Classification of Functioning, Disability and Health

買い物に行くための
車いすに安定して
座ってられるよう
体力づくり
体幹トレーニング



家庭内の役割獲得
・買い物
・掃除
・洗濯

スーパーの協力
道のりの確認
家族の理解と協力

残存機能を活かした妻への
貢献方法の提案と承諾



玄関で転ばないようにし、家族に心配かけずに外出したい。



家の風呂に自分で入りたい



孫に頼らず買い物に行けるようになりたい

【3】

ICFの視点が機能訓練加算のポイント



ICFの視点が入り入れられた個別機能訓練計画書

II 個別機能訓練の目標・個別機能訓練項目の設定

個別機能訓練の目標

機能訓練の短期目標（今後3ヶ月） （機能）	目標達成度（達成・一部・未達）	機能訓練の長期目標 （機能）	目標達成度（達成・一部・未達）
（活動）		（活動）	
（参加）		（参加）	

※目標設定方法の詳細や生活機能の構成要素の考え方は、通知本体を参照のこと。 ※目標達成の目安となる期間についてもあわせて記載すること。
 ※短期目標（長期目標を達成するために必要な行為）は、個別機能訓練計画書の訓練実施期間内に達成を目指す項目のみを記載することとして差し支えない。

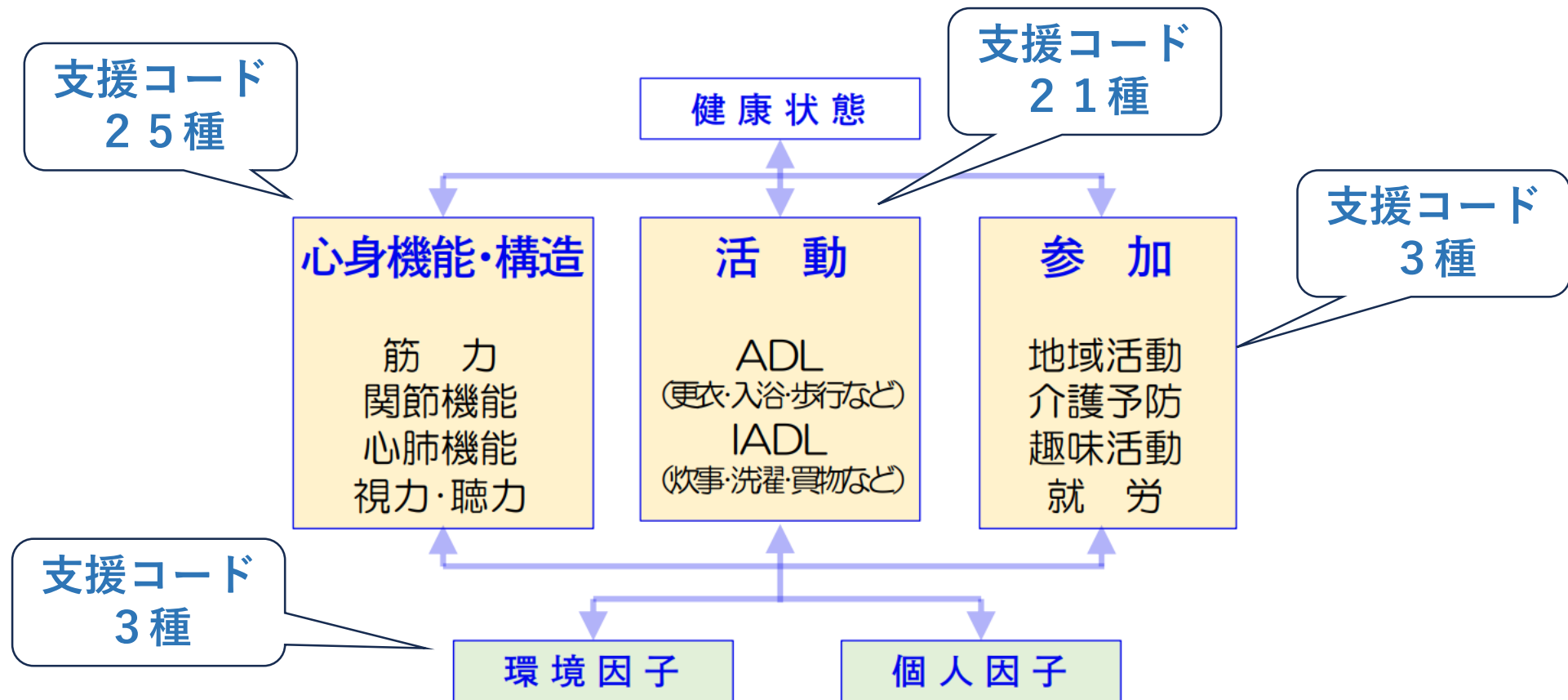
個別機能訓練項目

	プログラム内容(何を目的に(~のために)~する)	留意点	頻度	時間	主な実施者
①			週 回	分	
②			週 回	分	
③			週 回	分	
④			週 回	分	

※短期目標で設定した目標を達成するために必要な行為に対応するよう、訓練項目を具体的に設定すること。

プログラム立案者：

皆さんの施設のプログラムは支援コードの何番にあてはまりますか？



LIFEの支援コードから見えてくる 支援方法とデイのプログラム

【心身機能系】

01. **呼吸機能訓練** ・ ・ 呼吸リズム、呼吸の深さなど呼吸機能を維持・向上させる
02. **全身持久力訓練** ・ ・ 動作を長く続けるために呼吸循環機能の向上を図る
03. **関節可動域訓練**
04. **筋力維持・増強訓練**
05. **筋緊張緩和訓練** ・ ・ 痛み、痙縮などによる筋の緊張を弛緩させる訓練
06. **筋持久力訓練** ・ ・ 個別部位が長時間仕事をする筋の能力を向上させる
07. **運動機能訓練**
08. **疼痛緩和** ・ ・ 疼痛緩和のための運動療法や物理療法（動作法も含む）
09. **構音機能訓練** ・ ・ 発声・発話・発音のゆがみの修正などの訓練
10. **聴覚機能訓練** ・ ・ 音を聞き分ける機能の訓練（補聴器フィッティングなど含む）
11. **摂食嚥下機能訓練** ・ ・ 咀嚼し飲み込む機能の訓練
12. **認知機能訓練** ・ ・ **行為遂行(12)・空間知覚(13)・言語表出と理解(14)**
15. **学習と課題遂行練習** ・ ・ **学習(15)・読む(16)・書く(17)・計算(18)・・・**
23. **自己効力感練習** ・ ・ 自分は上手く行動できるという認識を高める練習
24. **自己認識練習** ・ ・ 自己の能力を正しく認識（過大・過小ではない）する練習
25. **コミュニケーション練習** ・ ・ 非言語、電話、PC含め、考えを伝え交換する練習

26. **姿勢変換保持練習** ・ 座位・立位・しゃがみ姿勢などになって保持する練習
27. **起居・移乗動作練習** ・ 寝返り、起き上がり、立ち上がり、着座などの練習
28. **歩行・移動練習**
29. **運搬練習** ・ 物を持ち上げる、物を別の場所へ運ぶの練習
30. **交通機関利用練習** ・ 交通機関を利用できるように練習する
31. **一連の行為練習** ・ **入浴(31)、整容(32)、排泄(33)、更衣(34)、食事(35)**
36. **自己管理練習** ・ 健康管理すべきメニューを自己管理かで実行する練習
37. **買い物練習** ・ 店で食料、家庭用品、衣服などを選択・運搬・支払する練習
38. **一連の行為練習** ・ **調理(38)、食後片付け(39)、洗濯(40)、掃除(41)、その他家事(42)**
43. **家庭用品の手入れ練習** ・ 衣服、靴、車、自転車、福祉用具等手入れ管理
44. **家の手入れ練習** ・ **住居・家具(44)、屋内外植物(45)**
46. **動物の世話練習**

47. 対人関係練習

状況に見合った社会文化的に適切な方法で、
他者（よく知らない人，友人，知人，親戚，家族など）と交流する練習をする

48. 余暇活動練習

遊び・レジャー・余暇活動に関与して楽しみや満足、
没頭を経験する,練習をする

49. 仕事練習

報酬を伴う仕事か伴わない仕事の全体または一部の練習

50. 環境調整

物理的・人的環境調整の助言・指導をする

51. 情報提供

生活行為向上に役立つ情報の提供をする

52. 介護指導

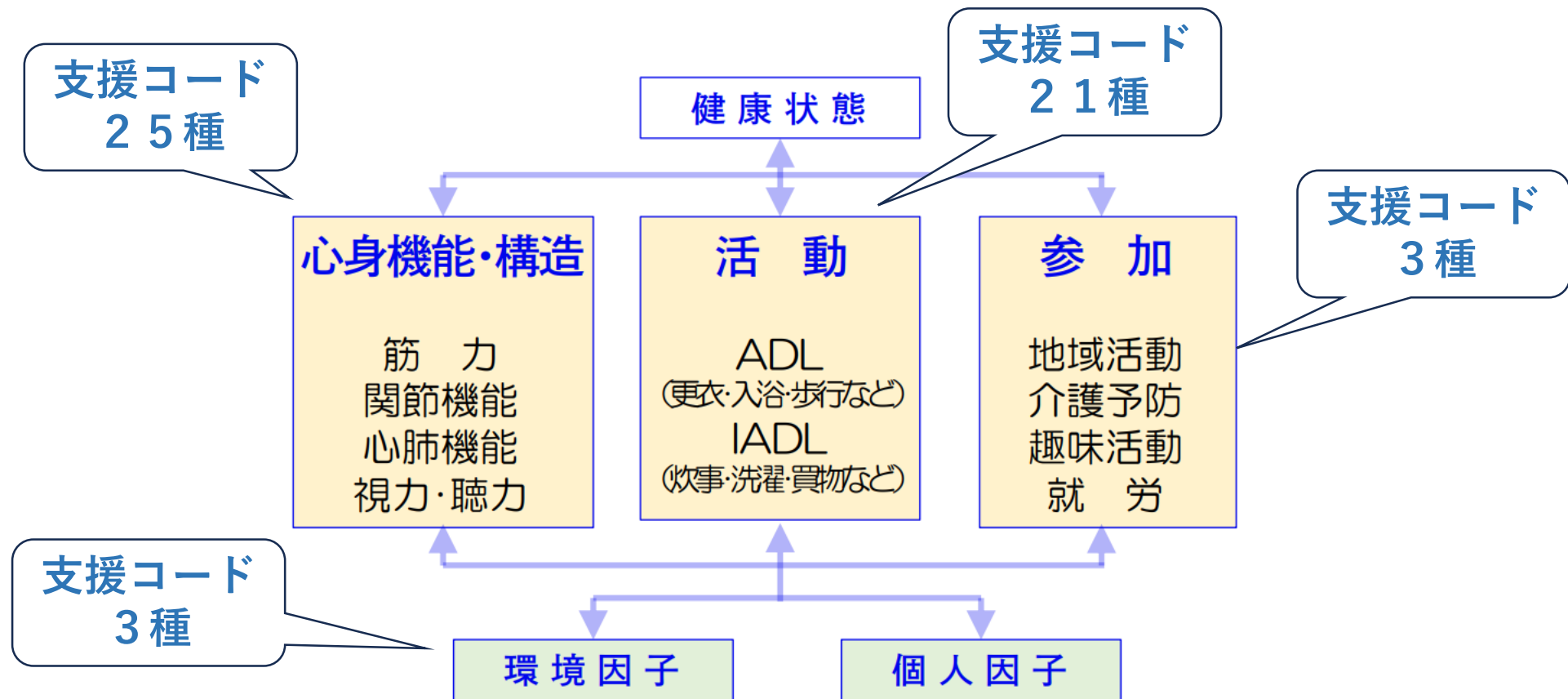
ケアに関わる人に介護方法の助言・指導をする

個別機能訓練項目

	プログラム内容(何を目的に(～のために)～する)	留意点	頻度	時間	主な実施者
①	自宅の浴室で安全に入浴できるようになるために、 家族へ介助方法と福祉用具活用の指導をする	特に衣類の着脱時の 転倒に注意	週 1 回	20分	OT
②					

各支援コードに当てはまる、皆さんの施設のプログラムを整理しましょう。

- (例)
- 08:疼痛緩和 ⇒ ホットパック・ウォーターベッド
 - 18:計算 ⇒ 脳トレ度ドリル
 - 37:買物練習 ⇒ ショッピングリハビリ
 - 29:運搬練習 ⇒ スクエアステップ



「心身機能」「活動」「参加」「環境因子」すべての領域&支援コードのプログラムを準備しておきましょう

目標達成に必要な課題や要素の分析からプログラムを発想しましょう

利用者名	個別機能訓練Ⅱ 目標	達成のための 要素の抽出	グループ編成
Y様	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅から150mほどのカラオケスナックに通えるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・下肢の筋力増強 ・基礎的な体力増加 ・車の乗り降りのための階段昇降 ・立位バランス向上 ・体幹の柔軟性向上 ・歩行力増強 《社会資源》 ・周囲の理解 ・友人の支援 ・家族の理解 ・スナックの協力 	<ul style="list-style-type: none"> ・マシンで基礎体力維持向上 ・体やわらかくグループ ・歩行強化グループ ・ふらつき防止グループ ・道のりWS

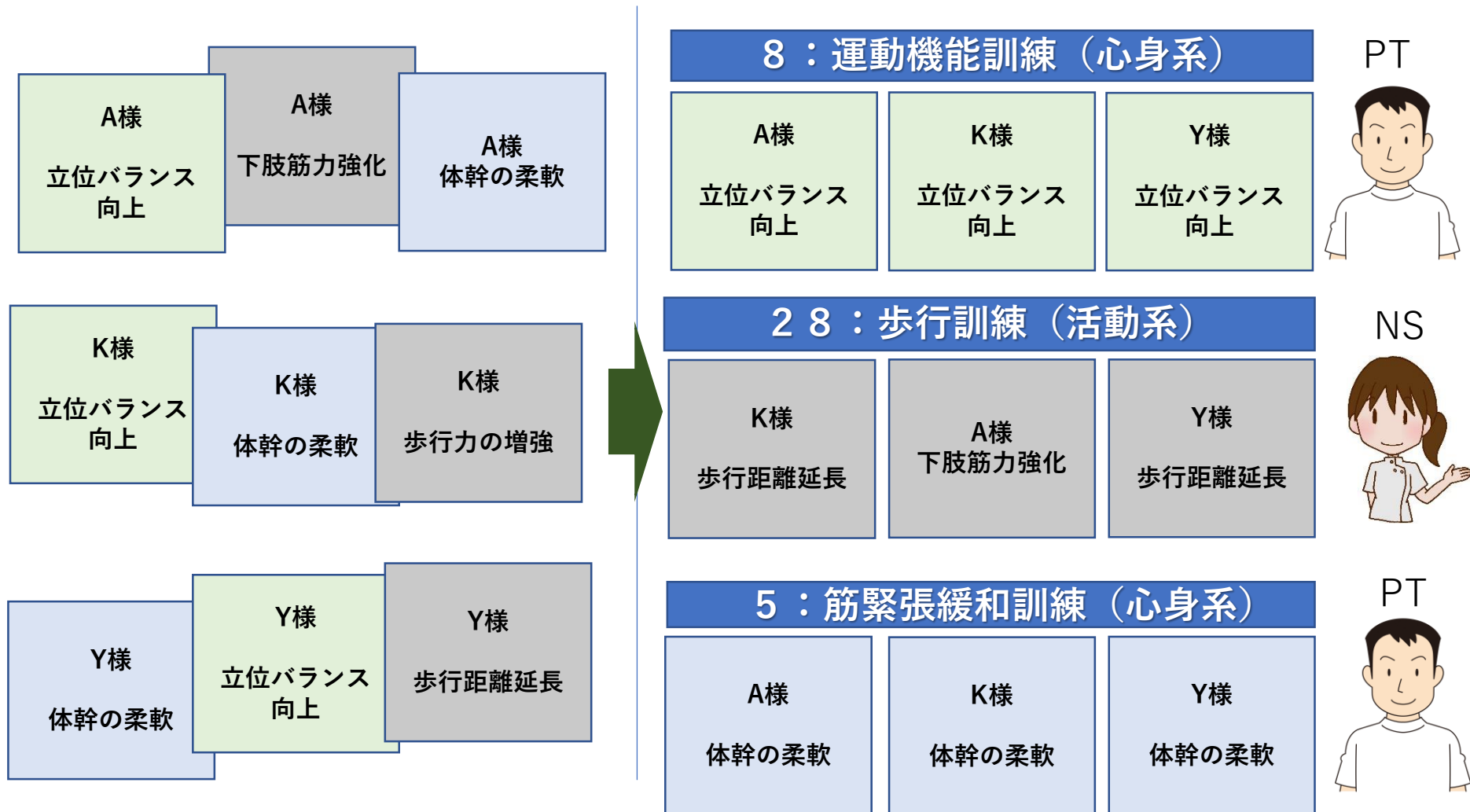
目標達成に必要な課題や要素の分析からプログラムを発想しましょう

利用者名	目標	達成のための要素の抽出	要素ごとグループ編成、訓練
A様	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車でスーパーへ買い物に行く ・テニスを見に行く 	<ul style="list-style-type: none"> ・下肢の筋力増強 ・運動量増加による体力増加 ・歩行力増強 ・立位バランス向上 ・体幹の柔軟性向上 ・他者との交流（通所内） ・テニス場までの道のりを知る + 「社会資源」 ・他者との交流（通所外） ・息子（次男）の協力 	<ul style="list-style-type: none"> ・マシントレーニングで基礎体力 ・歩行グループ ・下肢筋力維持向上のグループ ・ふらつき防止グループ ・道のりWS

目標達成に必要な課題や要素の分析からプログラムを発想しましょう

利用者名	個別機能訓練Ⅱ 目標	達成のための 要素の抽出	グループ編成
K様	<ul style="list-style-type: none"> ・娘さんとの散歩を継続する ・一人で公園へ出かけて季節感を味わう 	<ul style="list-style-type: none"> ・下肢の筋力増強 ・運動量増加による体力増加 ・歩行力向上 ・立位バランス向上 ・体幹の柔軟性向上 ・季節感を感じれる場所を探す <p style="text-align: center;">+</p> <p>«社会資源»</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排泄管理（娘） ・娘さんの協力 	<ul style="list-style-type: none"> ・マシンで基礎た体力維持向上 ・体やわらかくグループ ・歩行グループ ・ふらつき防止グループ ・道のりWS ・排泄パターン

目的別グループワーク(個別機能訓練加算プログラム)



〇〇のために〇〇をする



PTによる
「らくらく階段昇降グループ」



※5人程度以下の小グループ

NSによるチューブ体操
「どしり安定歩行グループ」



ご静聴有り難うございました



株式会社楓の風

横浜市神奈川区鶴屋町3-32-13第2安田ビル3F

045-320-0750

komuro@kaedenokaze.com

www.kaedenokaze.com